

第4節 8日目：2月21日（水）：飫肥～伊比井 曇り一時雨

2024年2月21日（水）曇り一時雨、南九州の旅の8日目は、日南線の飫肥駅（おび）～伊比井駅までの営業キロ16.5kmに挑戦する。営業キロは今回の旅で2番目に短い。北郷駅から伊比井駅の区間（営業キロ9.2km）は、JR線谷之城トンネル（3,670m）経由して鉄道が繋がっている。しかし、この区間鉄道に沿った幹線道路がないため、飫肥～内之田～北郷まで歩いて、飫肥まで戻り、海岸線に出で国道220号を歩き伊比井を目指すしかルートしかない。北郷から伊比井まで9.2kmのところ27km位歩くことを余儀なくされる。すなわち、飫肥から北郷までの営業キロが7.3kmあるので、35km位歩くことが余儀なくされる。すなわち、9時間位は所要時間が必要である。このようなことを想定し、日南線の旅のプランを練った。結果大成功であった。



※いざ伊比井！！ 宮崎駅、北郷駅



※鉄肥駅

田吉～油津の区間は、油津～志布志の区間に比べ、ダイヤが2倍位増えることから、また宮崎までの所要時間が短くなることから、宮崎発を5時24分ではなく6時42分とした。この1時間18分のゆとりは、起床時間に大きな援軍になった。結果大成功であった。車窓から見る限り、伊比井～北郷の区間は深い山とトンネルで沿線の風景は全く見えず、北郷駅に近づくにつれて民家が広がる。北郷駅から内之田駅に関しては、沿線に沿って右手に幹線道路があった。そして、内之田駅から鉄肥駅についても同じような道筋であったが、鉄肥駅界限から酒谷川があり、かなり迂回した先に鉄肥駅があった。本日はこのインプットされた情報に基づいての歩きとなった。



各駅の立ち寄り時刻は次の通り。

飢肥 (8:07) ～内之田(9:05)～北郷(10:12)～伊比井(17:20)

①飢肥駅で沢山の高校生が下車。駅員さんに切符を渡す際、「内之田駅に行きたいのですが、橋はありますか」と問い合わせる。「高校生について行って、途中で左折して下さい。コンビニに沿って歩くのはNGです」と教えて頂く。この情報に従って歩く。誤って竹香園口踏切を渡って鉄道つたい歩きしようとするが、どうも橋はありそうにもない。何となく変だと思い、300m位引き返し、コンビニが見える交差点まで戻る。10分位ロスタイムが生じる。コンビニの左側に幹線道路があり、その道筋を直進した先に、8時20分、万歩計で181歩ある今町橋(酒谷川)がある。この橋を渡った先に酒谷川に沿って、右折すると北郷方面の道路標識がある。これからこの幹線道路を歩けば、北郷駅に到着できると確信する。8時29分、47歩ある太田川橋を渡る。その先から山道となる。今歩いている幹線道路は県道430号とあった。小雨模様となる。淡々と上って歩くと民家が広がる。内之田駅には9時5分到着。



※竹香園口踏切



※今町橋



※内之田駅への路



※内之田駅

②9時10分、左手水田には所々でカエルの合唱がある。9時18分、神社前で本日の安全を祈願する。9時40分頃道路幅が狭くなる区間が100m位続くがそのうちに2車線道路に戻る。10時1分、郷之原浄化センター前を通過。この界隈から直線道路となる。民家が広がり淡々と歩いた先に北郷駅（10時2分）があった。この駅は山小屋風で粹な駅舎であった。この駅で10分位立ち止まりトイレ休憩とする。運よく、ウォッシュレットのトイレであり助かる。加えて、安全を期し、カッパを着用し、長い迂回ルートに臨むことにする。



※北郷駅への路





※北郷駅

③伊比井駅への路

迂回1（北郷～飢肥界隈の交差点）

飢肥界隈までは、酒谷川を挟んで反対側の道筋を歩くことにする。10時30分、北郷口踏切を横切り、鉄道の左側となる。本降りの雨で時々強風となり傘がハッタケとなる場面にも遭遇する。それ故、傘を差したり畳んだりしながらの歩きとなる。11時16分、左手に高速道路が見えて来る。右手に内之田駅への標識前があった。11時50分、左手に山宮神社があった。11時57分、高速道路下を通過する。12時17分、大宮神社前を通過。12時24分、やっと海岸線に繋がる道筋までくる。交差点にファミリーマートがあり、この幹線道路が海岸線に繋がるかどうかの確認のため出向く。結果「行けます」の回答を得る。トイレ休憩も含め、北郷駅からこの交差点まで2時間22分要す。いつの間にか雨は上がっていた。



※北郷口踏切



※飫肥界限交差点への路



※山宮神社



※福谷バス停（宮崎交通）、大宮神社



※東郷小学校、ファミリーマート交差点

迂回2（飲肥界隈の交差点～風田交差点）

ファミリーマートの交差点（12時24分）からは、県道434号を歩く。12時55分、水田でカエルの合唱がある。12時58分、薄日となる。13時11分、風田交差点で国道220号線に合流する。



※風田交差点への路



※風田交差点

迂回3（風田交差点～伊比井駅）

国道に合流し間もなく歩くと、13時20分、宮崎まで49km地点に到達。遊歩道がある日南海岸線を歩く。13時50分、立石バス停先で宮崎47km、青島32km、鵜戸神宮6kmと記した標識前を通過。この辺りで海岸線を楽しんでいるドライバーの方と対面する。「どこに向かっているのですか」と質問がある。チラシを手渡し、「今朝、飢肥駅を出発し、伊比井駅に向かっています。北郷駅からの迂回大変でした」と応答する。「大変ですが頑張ってください」の激励の言葉を頂いてこの場を去る。14時20分、宮崎まで45km地点に到達。14時46分、海宮（わたつみ）神社前を通過。15時10分、鶯の鳴き声を耳にする。15時13分より、最初のトンネル「鵜戸（875m）」内を歩く。15時33分、宮崎40km、青島25kmと記した標識前を通過。16時13分より、2番目のトンネル「宮浦（306m）」内を歩く。16時33分より、3番目のトンネル「日南富士（1,386m）」内を歩く。16時55分、78歩ある富士橋（富士川）を渡る。そして17時より最後のトンネル「伊比井潮風（724m）」内を歩く。17時16分、伊比井橋を渡った先に伊比井駅（17時20分）があった。やっと辿りついたという達成感で一杯となる。それにしても、4時間5分の海岸線を歩く旅となった。風光明媚の海岸線であったが、歩いて歩いてもくねくねした海岸線であった。また、風田交差点から最初のトンネル入り口まで長い道のりだった。



※国道 220 号線に合流、宮崎まで 49 km地点



※風光明媚な海岸線の遊歩道を歩く（遠くに都井岬）



※鶴戸トンネル（長い道のりだった）



※宮崎まで 40 km地点、ヤシ並木が続く



※風光明媚な海岸線（遠くに民家）



※宮浦トンネル、日南富士トンネル



※伊比井潮風トンネル、伊比井橋側道橋（遠くに JR 線）





※伊比井駅

④次の宮崎方面は、2日前に榎原駅で乗車した「日南マリーン号」であった。本日もこの快速（伊比井 18時17分発）で南宮崎駅に向かうこととする。車窓からは暗闇の状態以南宮崎、宮崎と移動する。宮崎駅には18時58分到着。昨日お邪魔した立呑”ごんぱち”で祝杯をあげ、ホテルで汗を流した後就寝。難関なコースを踏破し達成感に浸る一日となった。





※祝杯をあげる

第5節 9日目：2月22日（木）：伊比井～田吉 晴れ／雨

2024年2月22日（木）晴れ／雨、南九州の旅の9日目は、日南線の伊比井駅から田吉駅までの営業キロ21.3kmに挑戦する。当初は本日の営業キロや田吉から宮崎までのアクセス時間などから、宮崎発9時10分（伊比井駅到着9時57分）を考えていたが、不測の事態や観光を考慮して、急遽昨日と同様、宮崎発を6時42分に変更する。結果大正解であった。この変更により沿線をゆっくり満喫しながら歩けたし、ランチ時間をとることができたし、雨に遇う距離が少なくなった。朝食は昨日同様、コンビニのむすびなどで対応する。6時25分頃、宮崎駅改札口で入場する際、私の帽子を見てJR職員の池本さんから「写真を撮りましょう」とのお声がかかる。「お願いします」と応対し、チラシをお渡し、カッシー館を開きPRさせて頂く。この記念写真は、今回の旅の冒頭にも掲載させて頂いている通り、「日南線の踏破の前倒し」の記念写真としていい思い出になった。この場をお借りし、熱く厚く御礼申し上げます。加えて、車窓から日出の瞬間を伊比井駅への道中、ラッキーにも捉えることができる。



※宮崎駅



※日の出



※伊比井駅

各駅舎の立ち寄り到着時刻は次の通り。

伊比井(いびい、7:37)～小内海(こうちうみ、9:00)～内海(9:48)～折生迫(おりゅうごこ、11:23)～青島(12:11)～子どもの国(812:41)～曾山寺(そざんじ、13:23)～運動公園(13:55)～木花(きばな、14:25)～南方(みなみかた、15:40)～田吉(16:33)

①伊比井駅を種々のアングルで撮影後、7時37分、美しい日南海岸線を堪能しながら小内海駅を目指しスタートする。8時1分、宮崎28km、青島12kmの標識前を通過する。鶯巣(おうさ)バス停前を通過。8時4分、万歩計で40歩ある鶯巣橋を渡る。8時19分、いるか岬を通過。8時23分、日南市から宮崎市となる。8時31分、宮崎27km、青島11kmと記した標識前を通過。8時50分、中学校時代の友人から今回の旅の状況などについて激励の電話あり。昨日も電話(10時2分)があったが、雨対策で頭が一杯で出られず。小内海駅手前で歩きながらの電話終わる。小内海駅には9時到着。道路から5m位急な階段(工事現場にあるような階段)を上ったところがあった。階段の状況から判断し、「歴史の浅い駅舎であるなあ」と感じた。



※小内海駅への路、サクラにも対面



※小内海駅

②急な階段を降り、内海駅を目指す。8時38分、サクラを見かける。9時7分、野島神社で本日の安全を祈願する。9時30分、先日のBS（呑み鉄本線一人旅）で登場した、広大な洗濯岩に10分位立ち止まり、種々のアングルから撮影する。この界隈の海岸線は、”日南海岸国定公園”とあった。内海駅には9時53分到着。この駅も道路から3m位上ったところにあった。近くに小舟の姿を見かける。



※野島神社、野島バス停（宮崎交通）



※洗濯岩



※小海駅への路



※内海駅

③堀切峠トンネルがあり、このトンネル通過するか否か右往左往する。地図の確認後、このトンネルを10時11分より通過することにする。トンネルを通らず海外線を迂回すると道の駅があった。しかし、歩き時間を考慮し、迂回せず。赤坂跨線橋、そして徳次郎跨線橋（11時1分）を渡る。11時3分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。JRを跨いだ先で山之口高架橋（11時8分）がある。この先で海岸線の迂回幹線道路が国道220号に合流する。この合流した交差点から少し行った先で国道から下って住宅街に向かう道路がある。この道路を暫く歩くと片山踏切（11時20分）となる。この踏切を横切った先に折生迫駅（11時23分）があった。駅前には青島小学校があった。



※堀切峠トンネルへの路



※JR線を跨ぐ



※折生迫駅への路



※片山踏切を横切る



※折生迫駅

④ここから鉄道の右側の住宅街をくねくねと歩く。暫く歩くと十字路があり、右折し青島街道に合流（11時41分）する。その先にかき小屋があり、あわびのみを頂きランチ（11時45分～12時5分）とする。他に牡蠣、エビ、肉などあったがパスする。

昼食を食べ過ぎると眠たくなる恐れがあるし、まだ 11 km も歩く必要があるからだ。ヤシの並木が印象的な青島駅には 12 時 11 分到着。



※青島駅への路



※かき小屋でランチ



⑤12時25分、青島街道（県道377号）を歩き子供の国駅に向かう。12時34分、106歩ある知福側道橋を渡る。12時41分、子供の国駅に到着。この駅で私と同じ位の年恰好の方に話す機会があり、チラシを手渡す。この駅には埴輪があった。油津駅でもあったような気がする。



※子供の国駅への路





※子供の国駅

⑥12時53分、下り列車と対面する。13時9分、曾山寺バス停があり、その先を左折する。200m位行き過ぎていた。その先の農道を歩く。ハウスの間から曾山寺駅が見えるがその方向に向かう道路がない。暫く歩くが道路はありそうにない。それ故、引き返し交差点への道筋、農家の若者と対面。「曾山寺はどのようにして行けばよろしいですか」「近道があります。私の後について来て下さい」と言って、田んぼの中を通り、曾山寺駅への案内を頂く。「ハウスの中身はミツバチ活用による苺栽培ですね」「その通りです」「私の両親も十数年前までやっていました」「そうですか」チラシを手渡ししながら・・・「今回私は神奈川から日南線や指宿枕崎線を踏破するためにやって来ました」「凄いですね。頑張ってください」お礼を言ってこの若者と別れる。線路を3m位歩くと曾山寺駅（そさんじ）のホーム（13時23分）があった。15分位ロスタイムが生じる。



※南曾山寺バス停



※曾山寺バス停、苺ビニールハウス



※曾山寺駅

⑦曾山寺から幹線道路まで20m位あったが、曾山寺駅への案内板はなかったので通り過ぎて止むを得ないと自問自答する。県道377号を歩く。13時38分、401歩ある鶴来橋を渡る。13時46分、45歩ある島山橋を渡る。運動公園駅には13時55分到着。



※鶴来橋を渡る





※運動公園駅

⑧国道 220 号線を歩き、少し歩いた先で木花駅に繋がる道筋を歩く。ジャイアンツを全面に醸し出した木花（きばな）駅には 14 時 25 分に到着。



※木花駅への路



※木花駅

⑨木花駅から少し行った先に清武川（414歩）が横たわっていたにも関わらず、錯覚して清武川に沿って歩いていた。途中、厚くなってシャツを脱ぐ。20分位ロスタイムが生じるが、地図やスマホの確認が功を奏す。幹線道路の戻り、14時51分より清武川を渡る。15時1分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。15時13分、雨模様となる。南方駅には15時40分到着。



※南方駅への路



※南方駅

⑩15時59分、田元神社前を通過。16時11分、山内橋を通過。いつの間にか宮崎空港線と合流する。雨なので集中力を欠く。4年前にこの界隈を經由し田吉駅に向かったのに、全く忘却していた。16時33分、田吉駅に到着。しかし、踏切待ちのため16時34分発の延岡行きに乗れず。しかし、田吉駅で16時44分発の特急”海幸山幸4号”に特急料金を支払うことなく乗車できる。”人間 万事塞翁が馬”の諺がピッタリの場面だった。



※田吉駅への路





※田吉駅

⑪宮崎駅に到着（16時51分）するや否や、南九州の旅の冒頭ブログにある通り、JR職員の横山さんに「日南線の踏破」を記念に撮って頂く。感謝感激で一杯となる瞬間であった。



※宮崎駅にて特急”海幸山幸”

⑫ホテルに戻り、汗を流した後、4年前に訪れた”炎の舞”に出向くが、生憎満席とのことで、近くのひむかきらめき市場”たんや”で夕食とする。”生ビール”と”宮崎牛リブローズ定食”はなかなかのものであった。ホテルに戻り氷結で再度祝杯をあげる。そして、指宿枕崎線に加え、日南線も無事終え、友人に今回の旅の成果などをSMS や SNS で発信し就寝となる。



※”たんや”で夕食